

調査結果表（7 上記以外の調査項目 参考様式）

当該調査に 関与した調 査者		氏 名	調査者番号
	代表となる調査者		
	その他の調査者		

番号	調 査 項 目	調査結果				担当 調査者 番号
		指摘 なし	要是正		既 存 不適格	
7	建築物の内部					
付4(1)	常閉防火扉	閉鎖又は作動の障害となる物品の放置並びに照明器具及び懸垂物等の状況				
付4(2)		扉の取付けの状況				
付4(3)		扉、枠及び金物の劣化及び損傷の状況				
付4(4)		固定の状況				
付4(5)		人の通行の用に供する部分に設ける常閉防火扉の作動の状況				
付4(6)	居室の換気	換気設備の作動の状況				
付4(7)		換気の妨げとなる物品の放置の状況				
7	避難施設等					
付5(1)	非常用の照明装置	可動式防煙壁の作動の状況				
付5(3)		非常用の照明装置の作動の状況				
付5(4)		照明の妨げとなる物品の放置の状況				

特記事項

番号	調査項目	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善（予定）年月

（注意）

- ① この参考様式は、平成20年告示第282号第2の規定により長野県が追加した調査項目について、7「上記以外の調査項目」欄に記載する内容を、別紙で記載するための様式です。必ずしもこれによる必要はありませんが、この様式を使用する場合は、別記第一号様式の7に「別紙による」と記載してください。
- ② この書類は、特定建築物等ごとに作成してください。
- ③ 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ④ 「当該調査に関与した調査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の2様式第一面3欄に記入した調査者について記入し、「調査者番号」欄に調査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該建築物の調査を行った調査者が1人の場合は、その他の調査者欄は削除して構いません。
- ⑤ 該当しない調査項目がある場合は、当該項目の「調査結果」欄及び「担当調査者番号」欄に「―」を記入してください。
- ⑥ 「調査結果」欄は、建築基準法施行規則第4条の3別表第1に掲げる「項目」ごとに記入してください。
- ⑦ 「調査結果」欄のうち「要是正」欄は、同細則第4条の3別表第1に掲げる「項目」について「判定基準」に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑦に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑨ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑩ 「担当調査者番号」欄は、「調査に関与した調査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該建築物の調査を行った調査者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ⑪ 「特記事項」は、調査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する調査項目の番号、調査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（ ）書きで記入してください。